

〈講師プロフィール〉

上江隼人 (バリトン)

東京芸術大学音楽学部声楽科首席卒業、同大学院首席修了。

2011年ヴェルディフェスティバル(パルマ王立歌劇場主催)にてミケーレ・マリオツティ指揮『トロヴァトーレ』でイタリアデビュー、ルーナ伯爵をグッセート、ファイテンツアの両劇場にて演じ賞賛を浴びる。この公演の様子は文藝春秋の内田洋子著のエッセイになり、「ピアニッシモのバリトン」として話題を呼んだ。

主な出演として2012年東京二期会オペラ劇場60周年記念公演 アンドレア・バッテイス トーニ指揮 ダニエレ・アバード演出 ヴェルディ作曲『ナブッコ』タイトルロール、同年7月東京二期会オペラ劇場 パオロ・カリアーリ指揮 田尾下哲演出 マスカーニ作曲『バリアツチ』トニオ役、同年パルマ王立歌劇場ヴェルディ作曲『ステイフェーリオ』スタンカー(アンドレア・バッテイス トーニ指揮)、2013年びわ湖ホール・神奈川県民ホール共同制作沼尻竜典指揮 アントニオ・アルフォンソ演出 ヴェルディ作曲『椿姫』ジェルモン役で出演、際立った存在感で、公演の成功に大きく貢献した。同年10月シチリアのカターニアのマツシモ・ベッリーニ劇場の「ステイフェーリオ」にてスタンカー役に抜擢、2014年2月東京二期会オペラ劇場ヴェルディ作曲「ドン・カルロ」ロドリゴ役で出演し好演を博す。(カプリエーレ・フェツロ指揮 デウイット・マクウイガー演出)同年5月、シチリアのマツシモ・ペソノーニ劇場の「カヴァレリア・ルステイカーナ」アルフィオ役、「バリアツチ」にてトニオ役、両役を 演じ好評を博す。同劇場の上海ツアーにも参加した。

他にも東京二期会《リゴレット》か《トロヴァトーレ》ルーナ伯爵役、プッチーニ「三部作」の《外套》ミケーレ役、《ジャンニ・スキツキ》タイトルロール、藤原歌劇団《椿姫》ジェルモン役、《リゴレット》タイトルロール《ジャンニスキツキ》タイトル ロール《トロヴァトーレ》ルーナ伯爵、日生劇場《セビノアの理髪師》フィガロ役、新国立劇場《アイーダ》アモナスロ役、《チェネレントラ》ダンディーニ札幌文化芸術劇場(こけら落とし公演)《アイーダ》アモナスロ役で出演し、いずれも好評を博している。

NHK ニューイヤーオペラ・コンサートには2015年より出場(計7回)。

2021年には自身初めてのCDアルバム『ヴェルディアーノ』を発売。絶賛発売中。藤原歌劇団団員。